

# 市庁舎にアナログ式電話



アナログ式のコードレス電話は小型受信機で簡単に傍受できる—深谷市役所前で

# 個人情報傍受の危険

## 埼玉・深谷 中止、デジタルに

埼玉・深谷市が、市販のアマチュア無線機で通話が傍受できるアナログ信号式のコードレス電話機を全庁的に使っていたことが25日分かった。戸籍や住民票、税金の収納状況、福祉関連の相談など、市民のプライバシーにかかわる情報が傍受された可能性がある。毎日新聞の取材を受け、市はアナログ式電話機の使用を中止した。総務省や通信機器専門家から「役所が使っていたのは驚きだ」との声が出ている。【金沢衛】

市危機管理課によると、親機と子機が使えるコードレス電話を10年以上前から導入し、現在36台ある。多くがアナログ式とみられる。市民課や福祉課など本庁舎すべての部署に配備。窓口対応する職員らが頻繁に使用していた。市が25日午後、受信機を入手して試験すると、敷地外から市職員の会話が傍受できたため、即座に使用を禁止した。市危機管理課は

「書類を探しながら電話できて便利のため、各課の要望で導入を進めてきた」というが、福島重昭・市総務部長は「セキユリティーが甘かった」と話した。NPO法人「日本情報安全管理協会」（東京都）によると、アナログ式のコードレス電

話機の場合、親機と子機間の電波は100〜300m離れても市販の広域周波数帯受信機で傍受できる。佐藤健次専務理事は「傍受された個人情報、振り込め詐欺やストーカーなど犯罪行為に使用される可能性がある。アナログ式の危険性は一

般に浸透していると思っただが、役所が使っていたのは驚き」と話している。電話機大手の「パナソニックコミュニケーションズ」（福岡市）は、取扱説明書で「傍受の危険性」を明記している。6年前からは、国内向けの電話機はず

べてデジタル式に切り替えたという。石川家継・総務省地域情報政策室課長補佐の話、実態調査したところとはなく、各自治体は固定電話機を使用していていると思っていた。危険な面があり、（デジタル式との）交換を進めてほしい。各地の状況把握も検討したい。

厚生労働省は25日、薬害C型肝炎を起こした血液製剤「フィブリノゲン」を接着剤用にと、厚労省は今日11日にフィブリノゲン糊使用の報告があった556施設を公表していた。新たに判明した医療機関は次の通り。問い合わせは厚労省の専用相談電話（0120・

## ファイブリノゲン糊使用 新たに34施設

た恐れがある。フィブリノゲンの納入医療機関は約7000施設あり、厚労省は今日11日にフィブリノゲン糊使用の報告があった556施設を公表していた。新たに判明した医療機関は次の通り。問い合わせは厚労省の専用相談電話（0120・

- 509・002、平日午前9時半〜午後6時）。
- 【青森県】ときわ会病院▽国民健康保険百石病院（現・国民健康保険おいらせ病院）【秋田県】秋田赤十字病院群馬県前橋赤十字病院▽城山病院【千葉県】千葉リハビリテーションセンター▽東京歯科大千葉病院▽船

- 橋本市立医療センター▽東条病院【東京都】府中医王病院【神奈川県】横浜新都市脳神経外科病院【新潟県】斎藤記念病院【長野県】県身体障害者リハビリテーションセンター（現・県立総合リハビリテーションセンター）【岐阜県】下呂市立金山病院【静岡県】聖隷浜松病院【愛知県】聖霊病院▽三菱名古屋病院▽名古屋市立守山市民病院▽小牧市民病院【京都府】京都大病院▽京都市身体

カードを使った場合、という。【井出晋平】

る時了の約年た西尾